

【令和2年度 政策・調整会議】

件名：パークマネジメント推進方針（案）の策定について

日時：令和3年1月20日（水）10：43～10：46

場所：第3庁舎18階 大会議室

●付議理由

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等による緑とオープンスペースの価値の再認識や都市公園における制度改正といった急速な社会状況の変化に対応するため、令和3年度に予定している緑の実施計画（第2期）策定に先行して、「パークマネジメント推進方針」を策定し、公園緑地の柔軟かつ多様な利活用を推進するとともに、持続可能な管理運営の仕組みの構築に向けた取組を早急に実行するため。

●付議概要

パークマネジメント推進方針の策定に向けて、基本的な考え方・取組の方向性を案として取りまとめ、広く市民意見を募集する。

1 パークマネジメントの推進に向けた基本的な考え方

質の高い公園緑地サービスを持続可能なかたちで提供し続けるためには、これまで進めてきたパークマネジメントの取組をさらに一歩進め、今後取り組むべき方向性を多様な主体と共有していくことが必要です。そこで、公園緑地の抱える主な課題の解決に向けて取り組んでいく基本的な考え方を整理し、3つの視点としてとりまとめました。

【視点1】柔軟な利活用の促進と利用の多様化

【視点2】利用者の視点・経営的な視点に立った維持管理・運営

【視点3】柔軟な利活用と効率的な管理運営を見据えた公園づくり

2 パークマネジメント推進方針の取組の方向性

基本的な考え方、3つの視点ごとに、取組の現状及び今後進めていく取組の方向性を次のとおり整理しました。

【視点1】

#1：民間事業者等の多様な主体による利活用の拡大

#2：保全緑地における利活用と保全の好循環の創出

#3：多様な分野の取組と連携した利活用の促進

#4：様々な機会を捉えた地域が主体となった利用ルールづくりの促進

【視点2】

#5：市民創発型の取組との連携による協働の裾野の拡大

#6：複数公園の包括型管理運営手法等の導入や新技術等の積極的な活用

#7：運用基準の構築や基準緩和等による公園緑地の利便性の向上

#8：公園緑地における収益性の確保・向上と維持管理に係る財政負担の軽減

【視点3】

#9：民間のアイディア、ノウハウの効果的な導入の促進

●結論

案のとおり了承。